

現代文B 授業指導計画

授業者

1. 日 時 令和4年2月9日 第5時限
2. 実施場所 26HR教室（南館3階）
3. H R 26HR
4. 生徒観 国語力においては、自分の理解できる言葉や、分かりやすい具体例を頼りにして、独りよがり文章を読んでしまう傾向が見られる。文章の構造に注目して、筆者の主張を正確に読み取る力が弱い。また学習に向かう態度として、板書をノートに写すことでよしとする受身の姿勢が見られるので、学びに向かう主体的な態度を養う学習活動を工夫したい。
5. 単 元 「評論の文章構成を的確に捉え、筆者の考えを読み取ろう」  
教材 「集合知」という考え方
6. 本時の目標
  - (1) 言葉を手がかりにして文章の構成を捉え、論理的に考える力を身につける。
  - (2) 文章構成図をループリックにより自己評価し修正することで、学びに向かう主体的な態度を養う。
7. 本時の展開【全5時間中の2時間目】

時間	指導事項	留意点
導入 5分	本時の目標と活動について説明を行う。	前時の文章構成図を振り返り、押さえるべき内容を確認する。
展開 40分	対比的な表現や筆者の主張に線を引きながら、本文を読む。  「カルポワ対ワールド」と「カスパロフ対ワールド」の二つの事例の違いをまとめる。  文章構成図にまとめさせる。  ループリックで自己評価した後、ペアで文章構成図の修正点を確認させる。	「つまり」や「～ではなく」の言葉に着目し、筆者の主張をつかめるようにする。  電子黒板に教科書本文を投影し、二つの事例の違いを視覚的に確認させる。  対比の関係を意識してまとめるようにする。
まとめ 5分	文章構造図のポイントを確認し、筆者の主張をまとめる。	具体例と主張の関係を確認する。